



SESERAGI—MISHIMA  
ROTARY CLUB  
WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2018～2019年度 RI会長 バリー・ランシ  
RIテーマ インスピレーションになろう

クラブテーマ「あるがままの30周年＜Let it Be 30year＞  
思いを込めて！」

副会長 山田定男 幹事 岡 良森

第1391回 例会  
2018.12. 7(金)晴

司会:藤川智徳君 指揮:大庭靖貴君  
ロータリーソング「奉仕の理想」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F  
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210  
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 石井司人君

しばらくメンバーの皆さんと、顔を合わせる機会がない間、伊東西クラブの40周年の記念事業に、私と中村実行委員長、岡幹事、服部副実行委員長の四人で、参加させていただきました。やはり40周年を迎えるクラブの内容は、濃いものがありました。これから我がクラブの周年事業の開催に向け大いに参考になりました。今日の例会迄には、タイ～カンボジアの訪問もあり、内容がありすぎるので、二回に分けてお話をさせていただきます。新しい支援先の情報はその時にさせていただきます。

皆さんこんばんは、少し例会の開催がありませんでした期間があり、久しぶりの感があります。その間タイ経由でカンボジアにメンバーとゲスト含めて12名で行ってまいりました。目的は、タイの自転車贈呈の感謝込めの、スリーオンクラブの訪問です。例会の出席もさること、15年の歴史に対しての感謝状を、クラブから、贈呈させていただきました。そしてもう一つの目的のカンボジアのNGOの団体に所属している、三島出身の内田君の活動調査と、ご依頼のあった贈呈品の贈呈を込めた調査に行きました。現実と環境の厳しい現実を、メンバー全員で感じました。内容については、メンバーの一人一人のコメントが、これからあると思いますので、わたしからのコメントはこれぐらいにしておきます、ただこれからの国際奉仕の事業の一つとしての、価値はありそうな気がします。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	22/34	64.71%	28/34	82.35%
今回	28/34	82.35%	会員総数	37名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

杉山君、田中君、中本君、中山君、原君、山本君

(\*出席免除会員の欠席者 大房君、片野君、鈴木(政)君)

おめでとう

会員誕生日 11月25日 加藤正幸君

第6回理事役員会報告

開催日 平成30年12月7日金曜日 呉竹

(出席義務者)

理事(9名)石井司人・山田定男・山口辰哉・鈴木真知子・杉山順一(欠)・米山晴敏・大庭靖貴・服部光弥・岡良森

役員(3名)小島真・石井和郎・遠藤修弘

30周年記念事業実行委員長中村徹

司会者 岡良森 書記議事録署名人 石井和郎

議題

1 会長挨拶・・・石井司人度会長(1)

年末で忙しいところなので、スムーズな理事会をお願いする。

2 国際奉仕委員会準備状況について・・・幹事、国際奉仕委員会(5)

大庭委員長より本日報告が行われたが、十分な時間が取れなかったため、後日また報告する時間を設けたい。

岡幹事より、財団の補助金の報告書鋭意作成中。。

3 伊豆中央RCからの会員候補者資格確認について・・・幹事(1)

先方には、事実確認のみ連絡し、入会可否についてのコメントはしない。(先方の判断で行ってほしい旨連絡する)

4 クリスマス家族例会・・・親睦活動委員会(5)

現在のところ、参加予定者62名、余興の似顔絵希望者14名で準備している。また、新入会員紹介コーナーを設置し、会員皆で歓迎する。担当杉山君

5 各委員長より予定等・・・(5～10)

①30周年記念事業実行委員会準備委員会

本日例会で、発表した各役割責任者はそれぞれ会合を設け、詳細事項の検討・討議を重ねていただきたい。

②職業奉仕地区大会の参加について

職業奉仕委員長の杉山順一君および石井司人会長が出席する。

## 2018年度カンボジア王国 児童教育環境向上支援事業

国際奉仕委員長 大庭靖貴君  
幹事 岡 良森君

表記については、11月24日～28日にかけて実施しました。

以下に実施内容を報告するとともに、併せて訪問したタイスリウォンRCへの表敬訪問について報告します。

### 1. カンボジア王国児童教育環境支援

#### ①NGO [SHARE THE WINDS] リエンボン村小学校への支援内容

中古ミシン9台編み機1台、文房具等一式、簡易プールを贈呈しました。

目的 カンボジア王国では、地方における児童教育の環境は劣悪であり、識字率の向上が重要な問題となっており、幼児・児童の親は、職が無いため、一旦小学校に入学させることができても、出稼ぎのため、子供を帯同させることになり、子供たちが就学できないケースが頻発している現状です。『親が職を手にする事で地元に残り、子供たちを就学させることができる』との発想から、同村に小学校を設立するのみならず、その小学校に工房を設置し、ポシットや筆入れなどを制作している表記NGO団体が「SHARE THE WINDS」です。今回の活動は、この団体を通じ中古ミシンの贈呈などを目的としました。

また、現地シムリアップ地域におけるロータリークラブ等の概況を把握すること、接触を試みることも現地訪問の目的としました。

#### ②贈呈式

事前に贈呈式を行いたい旨を連絡していました。別添写真のとおり、想像を超える歓迎を受けることができました。村長、区長、校長先生等、当日は休日にも関わらず、児童保護者を含め200名以上の参加の中で行われました。

印象的なことは、内田隆太君(同NGO団体の代表。三島市出身)の挨拶を熱いまなざしで耳を傾けている児童の顔でした。彼の活動が村の多くの人から評価され信頼され尊敬されていることがわかりました。

#### ③地元団体との交流

当クラブ仲原君は、事前に現地に乗り込み、田井様(カンボジア領事)、アンコールRCアン会長と接触し、今回の活動の段取りを完璧にさせていただきました。現地日本人会会長、パスト会長と会食することができました。(アンコールRCのアン会長は、当日台湾帰省中のため、不在でしたが、同事業についての協力はいただけることの見解を頂いています。また、現地には、山本日本語学校が存在し、通訳等活動する上での支障がないことの確認が取れました。)

#### ④課題

今回、活動コストで多くを占めたのが物資の輸送コストです。確実に輸送することを目的に、空輸を選択しましたが、船便の利用方法等、検討する必要があります。

### 2. スリウォンRCへの表敬訪問

#### ①15年間の事業協力感謝状の贈呈

11月27日、12名にて同クラブ例会に出席するとともに、表記感謝状を先方北浦会長に手渡した。同日の例会は、日本各地のロータリアンも参加しており、その中で、当クラブ用にセンターテーブルを用意していただくなど謝意を感じることができました。

#### ②今後の展開

北浦会長の他、小田原直前会長から現状における放置自転車事業の今後の展開について、説明を受けた。タイ国福祉局との関係などから、直ぐに再開できるかは微妙な状況にあることが推察されます。

### 3. まとめ

今回の事業は、大変有意義なものとなりました。3割程度の子供たちは、草履も履いておらず、厳しい環境で生活していることは明白であり、勉強することは第一優先ではないのです。畑を手伝ったり、水汲みを手伝ったり、家畜の世話をしたり、そうしたことが重要とされているのです。『今日を生きる手伝いより、明日以降(未来)を生きる手伝い』という意味で、感動の連続でした。

参加いただいた会員の皆様、理解を示していただいた当クラブ全ての会員様に感謝申し上げます。



### スマイルボックス

大村典央君:11/27～12/4ドイツ・スペインへ旅行に行きました。バルセロナ到着後ホテルに向かう途中、いわゆるケチャップスリに遭いパスポート、財布、カードホルダー、wifiルーターが入ったショルダーバッグを取られてしまいました。全く笑えない出来事にあつたのでスマイルします。

太田政人君:先日、母が百一歳の天寿を全うし他界しました。生前に賜りましたご厚情に感謝いたします。

澤田稔君:先日スリウォンロータリークラブに行きまして、せせらぎ三島ロータリークラブの国際的な青少年健全育成の貢献度が偉大な実績で15年間断続してトータル4000台が発表され、福岡ロータリー、仙台ロータリー、富山ロータリー、その他大勢公式訪問の中でせせらぎ三島ロータリークラブを全国に名をはせました。石井会長、岡幹事、大庭委員長大変ご苦勞様でした。カンボジアでは仲原さん御尽力ありがとうございました。

兼子悦三君:カンボジア、タイ国の奉仕活動ご苦勞様でした。少しでも国際奉仕が出来ればせせらぎ三島ロータリーの伝統にまた一筋の光が輝くと思います。

中村 徹君:カンボジアのおみやげありがとうございました。30周年記念式典と祝賀会の会場がプラザで2会場、服部君のおかげで確保できました。服部君ありがとうございました。

山口辰哉君:カンボジアに行ってきました。皆様お世話になりました。

石井司人君:カンボジアから無事にメンバー10名ゲスト2名の方々帰ってきました。内容は後ほど。

石井邦夫君:いつもお世話になっております。来年よりがんばります。

岡 良森君:カンボジア・バンコクスリウォンRC訪問、御協力くださいました皆様ありがとうございました。

土屋 巧君:大変ごぶさたしておりました。申し訳ございません。この調子であと4年は拘束されることになりました。重ねて申し訳ございません。

藤川智徳君:先日のカンボジア及びタイの訪問団の皆様、どうも有難うございます。お疲れ様でした。

国際奉仕委員会参加者一同:スリウォンRC訪問、リエンボン村へ行ってまいりました。年次総会終了後ご報告いたします。

